

環境建設工学科 在学生の声



植田 敬助（うえだ けいすけ）さん

出身県・高校：島根県・島根県立松江工業高校

コース：土木工学コース

学年：3回生

土木工学コースの志望理由

私は地元島根県の工業高校出身で、土木を専攻していました。進学をしてこの学問をさらに深く学びたいと思い様々な大学の土木系学科について調べていました。その中で愛媛大学のオープンキャンパスに参加したところ、軟弱地盤の液状化対策に関する革新的な技術研究を行っている事を知り、興味をそそられ、この愛媛大学に進学することを決めました。

将来のキャリアパスについて

将来は大規模な建設現場、特に海上で行われる橋梁建設に携わりたいと思っており、現段階ではゼネコンへの就職を希望しています。海外での勤務を強く希望しているので、現在は TOEIC 学習を中心に語学力のアップを目指し頑張っています。またそれと並行して工業の教員免許の取得を目指しており、キャリアを積んだ後、母校である工業高校に勤務し、自分の経験を次世代に伝えていく役割を担っていきたいと思っています。

大学生のライフスタイル

実験レポートや、授業課題に追われる毎日ですが、その中でも週 4 回前後のバイトをしたり、息抜きとして友達と夜通しでボーリングをしたりと、非常に充実した日々を送っています。最近では特に TOEIC 学習に力を入れており、限られた時間を有効に活用しようと努力しています。

大学の授業

学部1回生および3回生に開講される実践英語演習です。この授業ではディクテーション(英文聴いて同時に文字に起こす)や日常英会話を暗記して実際にその場面を表現する練習を行い、TOEICのスコアアップを目的としています。英語が苦手だった私にとってそれを克服するための魁となりました。表彰制度もあるので、楽しく英語を学ぶことができます。



3回生 表彰の様子

環建ライフの良いところ

環境建設工学科は基本的に授業数や課題が多く、試験前は時間に追われる事が常ですが、それを乗り越えた後の達成感は非常に大きいです。勉学に励む時とリフレッシュする時のメリハリをしっかりとつける事ができ、有意義な時間を過ごせていると感じています。

また教授のみなさんも熱意のある学生には親身になって接していただきますので、進路について気軽に相談できる所も良い点です。

受験生の皆さんにメッセージ

大学生活は楽しいです。好きな学問を追求し、好きな趣味に打ち込み、友達とお酒を飲んで語り合ったり、レンタカーを借りて県外に弾丸旅行に行ったり、試験前に徹夜でウイニングイレブンに没頭したり、勉強面はもちろんのこと、大学生でしか味わえない醍醐味があります。

今は勉強に向かう毎日で、時には逃げ出したいくなるかもしれません。私もそうでした。しか

し、大学生活は本当に密度の濃いもので、一生の宝物になります。今はやるべきことをやって、4年間のモラトリアム期間をめでたくもぎ取ってください。